

現状・課題

計画的な施策の展開

政策目標

トップアスリート層のオリンピック競技大会におけるメダル獲得率が低い。

女性アスリートの分野における支援の在り方については研究・開発の途上にある。

競技性の高い障害者スポーツについて、支援の在り方について検討する必要がある。

スポーツに関する国の内外の情報の収集・活用や情報発信が十分ではない。

競技水準の更なる向上、スポーツを通じた国際交流の発展を考えると指導者等は新たな能力が必要となり、人数的にも厳しくなる。

NF等において、キャリア循環が必ずしも円滑に行われていない。

NTCが世界トップレベルの選手強化拠点として、JISSがスポーツ科学・医学・情報拠点として、その役割を果たし、リードし続けていく必要がある。

人材・知識・情報について、各機関間の連携が十分とはいえない。

(1) ジュニア期からトップレベルに至る戦略的支援の強化

【施策目標】

・スポーツ団体や強化・研究関係機関、地域等との連携により、トップアスリートを強化・育成するための、ジュニア期からトップレベルに至る体系的かつ戦略的な支援を強化する。

【主な施策の方向性】

- ・有能なアスリートの強化・育成と、中央競技団体（NF）等における専門スタッフの充実等。
- ・スポーツ科学・医学・情報分野等、多方面からのアスリートに対する高度な支援（マルチ・サポート）の戦略的・継続的な実施。
- ・女性アスリートの戦略的な強化や女性特有の課題解決をサポートする取組の推進。 …etc

(2) 指導者及び審判員等の養成・研修やキャリア循環の形成

【施策目標】

・指導者及び審判員等、トップスポーツの推進に寄与する人材の養成や、トップアスリートから指導者等に至るキャリアの形成を行う体制を充実させる。

【主な施策の方向性】

- ・養成した人材が国内外で活躍できる派遣システムの構築。 …etc

(3) トップアスリートのための強化・研究活動等の拠点構築

【施策目標】

・国際競技力の向上を推進する拠点体制として、世界水準に対応したNTC、JISS、大学等の拠点を整備し、強化・研究関係機関の相互の連携強化を促進する。

【主な施策の方向性】

- ・オリンピック競技大会（2012/ロンドン）の結果等の分析を踏まえつつ、NTC及びJISSを強化。
- ・強化・研究を活動拠点のネットワークを形成。 …etc

ジュニア期からトップレベルに至る体系的な強化・育成体制を構築する。過去最多を超えるメダル数の獲得等を目指す。